

「道徳」

一年生では、年間35時間の道徳の授業を、学級担任が行う担任道徳と、学年の教員が各クラスを順に回って行う持ち回り道徳を組み合わせ、22の内容項目について「考え、議論する道徳」を目指して取り組んでいます。

また、子どもたちは「こころのあゆみ」を使って、毎時間、道徳の学びの中で考えた“自分自身が実践したいこと”をかきとめ、学期ごとに振り返りを行います。

道徳通信では、道徳の授業で、子どもたちがどんなことに気付き、考えたのか、子ども達の言葉を紹介します。道徳通信を通じてご家庭でも意見交換していただき、道徳授業の学びがさらに深まる機会になればと思います。

「1年間で学ぶこと（22の内容項目）」

Aの視点…自分自身に関すること

（自主、自立、自由と責任／節度、節制／向上心、個性の伸長／希望と勇気、克己と強い意志／真理の探究、創造）

Bの視点…他の人との関わり

（思いやり、感謝／礼儀／友情、信頼／相互理解、寛容）

Cの視点…集団や社会との関わり

（遵法精神、公德心／公正、公平、社会正義／社会参加、公共の精神／勤労／家族愛、家庭生活の充実／よりよい学校生活、集団生活の充実／郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度／わが国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度／国際理解、国際貢献）

Dの視点…生命や自然、崇高なものとの関わり

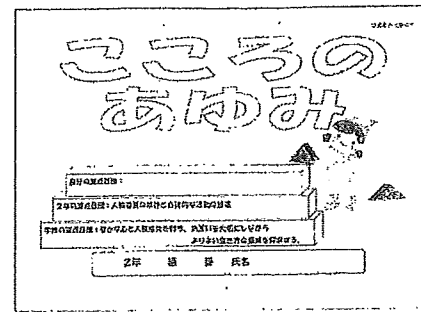
（生命の尊さ／自然愛護／感動、畏敬の念／よりよく生きる喜び）

1～2 学期の間に学習した道徳の内容についてご紹介します。

A	自主、自律、自由と責任	『傍観者でいいのか』
	節度、節制	『山に来る資格がない』
	向上心、個性の伸長	『自分の性格が大嫌い』
	希望と勇気、克己と強い意志	『全てがリオでかみ合った』
	真理の探究、創造	『「どうせ無理」という言葉に負けない』
B	思いやり、感謝	『その人が本当に望んでいること』、『思いやりの日々』
	礼儀	『朝市の「おはようございます」』
	友情、信頼	『短文投稿サイトに友達が悪口を書くと』
	相互理解、寛容	『落語が教えてくれること』
C	遵法精神、公德心	『ごみ箱をもっと増やして』
	公正、公平、社会正義	『席替え』
	社会参加、公共の精神	『本が泣いています』
	勤労	『「看護する」仕事』
	家族愛、家庭生活の充実	『母はおしいれ』
	よりよい学校生活、集団生活の充実	『全校一を目指して』
	郷土の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	『ぼくのふるさと』
D	国際理解、国際貢献	『日本から来たおばさん』
	生命の尊さ	『いのちって何だろう』
	自然愛護	『桜に集う人々の思い』



「こころのあゆみ」



学年	教科書	教材	学習日	学習した内容	学習の振り返り
A	道徳	自分自身に関すること	1	月 日	😊😊😊
			2	月 日	😊😊😊
			3	月 日	😊😊😊
			4	月 日	😊😊😊
			5	月 日	😊😊😊
			6	月 日	😊😊😊
			7	月 日	😊😊😊
			8	月 日	😊😊😊
			9	月 日	😊😊😊
			10	月 日	😊😊😊

毎時間の授業で記入した「こころのあゆみ」を振り返り、生徒自身で成長を実感してもらいました。また、ふりかえりでは、「いちばん心に残っている教材について」「あなたのものの考え方や見方・行動で変化したなあとと思うところ」を記入し、学習した内容から“今の自分”“未来の自分”の在り方について考えている様子が見られました。

そして、三者懇談で道徳の評価をお渡しするので、これを機会に道徳の時間での学びについて、ご家庭でもお話しいただき【道徳の時間の振り返り】に一言お子さまへ向けての言葉をお願いします。お手数ですが、終業式の12月23日（水）までに、お子さまを通じて担任までご返却ください。

学期末のふりかえりより

- ◆一番悲しむ人、辛い思いをする人を一番考えられるようになった。これから生活していく中で、いじめを受けていたり、いやがらせを受けている人を見かけたときに、一番に守ってあげられるように、周りをよく見ていきたいと思う。
- ◆相手の気持ちを考えることはよくあったけれども、それは自分がなった時の気持ちであり、自分とは性格も何も違う相手が思っているとは限らないのではと思った。そのため、たくさんの人の気持ちを聞き、いろんな人の考えを取り入れられるようにすることが大切であり、また、人それぞれの違いはその人の個性であるため大切だと思いました。これからも、いろんな人の気持ちや言葉を大切にしていきたいと思いました。
- ◆この学習を通して自分の中で「悪いこと」、「不公平」なことを考えることができた。そして、自分が正しくないと考えたことは、自分の口で伝えることができるようになってきた。また、周りに影響されずに自分の意見をしっかり持って、自分の行動に責任を持つことができるようになった。
- ◆2 学期の道徳の授業で、人の気持ちが分かるようになったと思います。ちょっとしたことで申し訳ないと思ったり、「ありがとう」、「ごめんね」という少しの言葉もいえるようになりました。道徳はつまらないものだと、小学校の頃は思っていたけど、中学校になって、人の気持ちや行動についても考えられるものだと分かりました。
- ◆2 学期の道徳は人との関わりが多く、今の自分も人と関わるが多くなったので、学べたことがたくさんありました。以前は自分の意見を言えず、ムズムズしていましたが、今は少しずつ言えるようになりました。また、自分一人でも何人でも自分ができることを小さなことだとしても取り組んでいこうとすることができました。
- ◆私は人を大切にすることがとても良いことで、誰もが快く生きられることだと改めて気づけました。また入だけではなく物や言葉などです。そこから、生活で活かしたのは、言葉づかいなどを少し気をつかうようになりました。
- ◆他人のことも考えて行動するようになった。自分のことも、他人のことも大切にしたい。
- ◆自分のため、人のためにも、人を傷つける言葉、傷つけること、いやなことをするのは、絶対にしてはいけないことを改めて分かりました。今がしんどくて、いやになっても、それを乗り越えれば、失敗しても、努力は無駄にならないからそれを信じて頑張っていきたい。

1・2学期の道徳の授業をふりかえって…

「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」として位置付けられるようになり、2年目。上京中学校では、学級担任が行う担任道徳と、学年の教員が各クラスを順に回って行う持ち回り道徳を組み合わせ、下記の22の内容項目について「**考え、議論する道徳**」を目指して取り組んでいます。

「1年間で学ぶこと（22の内容項目）」

Aの視点…自分自身に関すること

(自主,自立,自由と責任/節度,節制/向上心,個性の伸長
/希望と勇気,克己と強い意志/真理の探究,創造)

Bの視点…他の人との関わり

(思いやり,感謝/礼儀/友情,信頼/相互理解,寛容)

Cの視点…集団や社会との関わり

(遵法精神,公德心/公正,公平,社会正義/社会参加,公共の精神/勤労
/家族愛,家庭生活の充実/よりよい学校生活,集団生活の充実
/郷土の伝統と文化の尊重,郷土を愛する態度
/わが国の伝統と文化の尊重,国を愛する態度/国際理解,国際貢献)

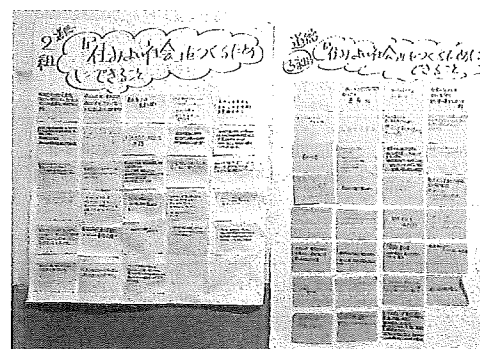
Dの視点…生命や自然、崇高なものとの関わり

(生命の尊さ/自然愛護/感動,畏敬の念/よりよく生きる喜び)

この22の内容項目のうち、1学期～2学期の間に取り扱った教材をご紹介します。

A	節度, 節制	『ばなしの女王』
	向上心, 個性の伸長	『私は十四歳』
	希望と勇気, 克己と強い意志	『左手でつかんだ音楽』
	真理の探究, 創造	『赤土の中の真実』
B	礼儀	『あいさつ』
	友情, 信頼	『ゴール』
	相互理解, 寛容	『遠足で学んだこと』
C	公正, 公平, 社会正義	『渡良瀬川の鉱毒』
	社会参加, 公共の精神	『住みよい社会に』
	よりよい学校生活, 集団生活の充実	『合唱コン ディアモンドランキング』
	国際理解, 国際貢献	『六千人の命のピザ』
D	感動, 畏敬の念	『夜は人間以外のものの時間』
	よりよく生きる喜び	『人間の強さ・気高さ』

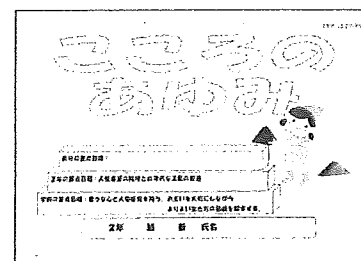
「住みよい社会に」(社会参画, 公共の精神)では、マナーがカメラに監視されることについて話し合い、住みよい社会をつくるためにできることを考えました。



- 周りがうれしくなるようなことをする!
- 当たり前のことをちゃんとできるようにしたい。
- 自分や周りの人から注意などをして、そういうものを緩和させていったらいいと思いました。
- 一人一人の意識が同じ方向に向かっていけば、できることが増えると思う!

子どもたちは「こころのあゆみ」を使って、毎時間、道徳の学びの中で考えた“自分自身が実践したいこと”をかきとめ、学期ごとにふりかえりを行っています。

1～2学期のふりかえりでは、特に心に残った道徳の授業を想起し、今の自分、そして今後の自己の在り方について立ち止まって考える様子が見られました。



学期末のふりかえりより

～あなたのものの考え方や見方・行動で、変化したなあと感じることは？～

自分では思いつかない考えがたくさん聞けて、より人のことを考えられるようになった。これからも思いやりを大切にしていきたい。

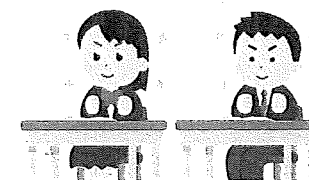
みんなの個性的な意見を聞いて、考えがポジティブになったと思う!!

自分を大切にすること、自分らしく楽しむことが大切。自分の生き方を通じて、周りの人を大切にすることができると思う。

自分のことも他の人も大切にできるように心がけたいと思いました!

人それぞれの良さを理解したら、もっと仲が深められるのかなと思いました。自分の意見だけ通そうとしたらダメなんだと思いました。

物事を深く、広く考えるようになった。これからも、プライドをもって、自分を貫き通して生きていきたいと思います。



三者懇談で、道徳の評価をお渡ししておりますので、お子さまの成長を積極的に受け止め、認め、一言お子さまへの励ましの言葉をいただくと幸いです。お手数ですが、終業式の**12月23日(水)**までに、お子さまを通じて担任までご返却ください。

上京中学校
3年

道徳だより

12月発行

1・2学期の道徳の授業をふりかえって…

「道徳の時間」が「特別の教科 道徳」として位置づけられるようになり、2年目。

上京中学校では、学級担任が行う担任道徳と、学年の教員が各クラスを順に回って行う持ち回り道徳を組み合わせ、下記の22の内容項目について、**自分ならどうするのかを問い、自分自身のこととして考え、議論していく道徳**を目指して取り組んでいます。



「1年間で学ぶこと（22の内容項目）」

Aの視点…自分自身に関すること

（自主、自立、自由と責任／節度、節制／向上心、個性の伸長
／希望と勇気、克己と強い意志／真理の探究、創造）

Bの視点…他の人との関わり

（思いやり、感謝／礼儀／友情、信頼／相互理解、寛容）

Cの視点…集団や社会との関わり

（遵法精神、公德心／公正、公平、社会正義／社会参加、公共の精神／勤労
／家族愛、家庭生活の充実／よりよい学校生活、集団生活の充実
／郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
／わが国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度／国際理解、国際貢献）

Dの視点…生命や自然、崇高なものとの関わり

（生命の尊さ／自然愛護／感動、畏敬の念／よりよく生きる喜び）



この22の内容項目のうち、1学期～2学期の間に取扱った教材をご紹介します。

A	自主、自律、自由と責任	「ある日の午後から」
	節度、節制	「早朝ドリブル」
	向上心、個性の伸長	「ぼくにもこんな『よいところ』がある」
	希望と勇気、克己と強い意志	「高く遠い夢」
B	思いやり、感謝	「一冊の漫画雑誌」
	礼儀	「山の番人」
	友情、信頼	「私を支えてくれた言葉」

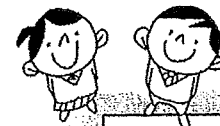
C	遵法精神、公德心	「缶コーヒー」
	公正、公平、社会正義	「無実の罪」
	勤労	「好きな仕事か安定かなやんでいる」
	家族愛	「背筋をのばして」
	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「島唄の心を伝えたい」
	我が国の殿町と文化の尊重、国を愛する態度	「花火と灯ろう流し」
D	生命の尊さ	「人間の命とは——人間の命の尊さ・大切さを考える」
	感動、畏敬の念	「ハッチを開けて、知らない世界へ」
	よりよく生きる喜び	「背番号15が歩んだ道——黒田博樹」

自らの成長を実感し、意欲の向上につなげていくために、これまでの自身の学びのふりかえりを行いました。ふりかえりでは、特に心に残った道徳の学習を想起し、今の自分、そして今後の自己の在り方について立ち止まって考える様子が見られました。

そして、三者懇談で道徳の評価をお渡ししておりますので、お子さまの成長を積極的に受け止め、認め、一言お子さまへの励ましの言葉をいただけると幸いです。お手数ですが、終業式の**12月23日（水）**までに、お子さんを通じて担任までご返却ください。

学期末のふりかえりより

～あなたのものの考え方や見方・行動で、変化したなあと思うところは？



みんなに幸せを与えられる
人になりたい。

自分の心の中に考えを秘めておくのではなく、
口に出したり、注意したり、自分の意見をはっきり伝えることが、できるようになった。

ときどき、周りのことが見えなくなってしまう
ことがあった自分が、前よりも相手の気持ちに
気づき、周りが見えるようになったと思う。

自分一人で社会にいるのではない、と改めて気づ
きました。たくさんの人と支え合って生きている
ということは、他の人に弱いところを見せて頼っ
てもいいし、相手の弱い所は自分のできる限りの
ことをして協力する。そういう支え合いができる
人が幸せになれるのではと思いました。

高校・大学・社会人とステップア
ップする上で、礼儀やあいさつな
ど、少しでも人の気持ちを考えよ
うという心が道徳を通して芽生え
てきたし、これをもっと習慣づけ
られるように、日常で実行するこ
とが大切だと思いました。

道徳は日常の中にあります。

「どう生きるか」これからも考え
続けられる人であってほしいです。